

令和8年度 第4回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 令和8年7月1日（水）13：30～15：00

2 場 所 大学本館2号館4階 多目的ホール

3 出席者（14名）（敬称略、選出区分順）

学内：石丸、長田、中田、足立、澤田、檜本、森本、石田尾、東、藤野

学外：櫻井、安元、田中、早川

欠席者（1名）

学内：宗

学外：なし

4 報告事項等

(1) 令和8年度 第4回迅速審査小委員会について

石丸迅速審査小委員会委員長から、席上配付資料に基づき、迅速審査7件について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を小委員会委員長が確認したので承認とした並びに本学が共同研究機関である他機関共同研究の中央一括審査の新規申請1件について、内容を確認し承認とした旨の報告があった。

(2) 令和8年度 第5回倫理委員会開催日変更について

石丸委員長から、各委員を対象に事前に実施した日程調整の結果を踏まえ、令和8年度 第5回倫理委員会は当初の日程を変更し、令和8年8月6日（木）13時30分から大学本館1号館4階1401室において開催する旨の報告があった。

○新規申請（迅速審査）

① 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 准教授 大河原 眞

研究課題名： 更年期症状を有する女性労働者の健康増進に関する事業場調査

審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 准教授 大河原 眞

研究課題名： AIチャットボットを用いた更年期障害に関するインタビュー調査

審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 准教授 大河原 眞

研究課題名： 健診判定支援システムを作成するための専門家判定の教師データの開発と判定モデルの構築・検証

審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

④ 研究責任者： 産業医科大学若松病院 感染制御部 看護師 寺本 美江子

研究課題名： 携帯手指消毒剤導入による手指衛生遵守率への影響に関する後方視的観察研究

審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

⑤ 研究責任者： 医学部 第1生理学 教授 丸山 崇

研究課題名： 日本国内の自殺原因に関する研究

審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

- ⑥ 研究責任者： 産業医科大学若松病院 呼吸器内科 准教授 山崎 啓
 研究課題名： DPC データを用いた本邦における入院医療の実態、疾病疫学、治療内容
 および転帰に関する包括的研究
 審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
 研究課題名： 労働時間に関する希望とその背景が労働者のメンタルヘルスに及ぼす影
 響に関する縦断研究
 審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

○新規申請（中央一括審査/本学共同研究機関）

- ① 研究責任者： 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授 堀 龍介
 研究課題名： 安全・確実な内視鏡下耳科手術のための手術手技トレーニングコースの
 効果に関する研究
 研究代表機関： 山形大学医学部
 審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

5 審議事項等

- (1) 令和8年度 第3回 産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）について
 石丸委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 講師 真船 浩介
 研究課題名： 産業心理職の勤務実態と技能に関する調査研究
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出された
 ものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

12. 研究費の資金源と利益相反について

- ・英文誌投稿等に係る費用が発生するため、研究費の資金源として本学運営費（講座
 研究費）を記載する。

○研究実施計画書

12. 研究の資金源等、利益相反等

- ・英文誌投稿等に必要な費用について、研究の資金源を明記する。

○アンケート画面、説明文書

- ・研究対象者が研究参加の可否を適切に判断できるよう、研究の目的・利用方法、第
 三者提供や海外提供の有無、公的データベースへの登録の有無等について、アンケー
 ト画面及び説明文書に明記する。

- ② 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 東久保 一朗
 研究課題名： 粉じん・騒音労働環境における健康リスク評価に生活環境が影響をおよ
 ぼす可能性に関する基礎研究
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出された

ものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

12. 研究の資金源等、利益相反等

- ・その他研究資金として、本学運営費（講座研究費）を記載する。

○参加される方への説明文書

5. 研究の方法について

- ・使用モニター計および粉じん騒音ばく露計の重さを追記する。

(2) 新規申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

① 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅

研究課題名： 音声感情解析技術を活用した産業保健面談支援モデルの探索的検証
一過重労働面談場面における非言語情報提示の有用性・受容性・安全性
の検討—

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出された
ものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

5. 研究対象者の選定方法 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等

- ・選択基準の対象者役の学生について、「医学部4年生以上」に修正する。

19. 研究対象者の経済的負担及び研究対象者への謝礼の有無とその内容

- ・謝礼の有無について、学生のみを記載するか、又は具体的に記載する場合は、面談役（産業医）の記載と同様に、実労働者がボランティアである旨を記載する。

○研究実施計画書

4. 研究対象者の選定方法 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準など

- ・選択基準の対象者役の学生について、「医学部4年生以上」に修正する。

13. 研究対象者等に経済的な負担又は謝礼

- ・謝礼について、学生のみを記載するか、又は具体的に記載する場合は、面談役（産業医）の記載と同様に、実労働者がボランティアである旨を記載する。

② 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚

研究課題名： 働く人のメンタル不調予防に資する認知行動的アプローチによるハイブリッド型デジタル介入の社会実装に向けたエビデンス強化研究
(WAVE 研究)

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出された
ものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 研究方法 4-5. 研究対象者のリクルート方法と登録方法

- ・非対象者へのメール送付に際し、自殺リスクが高い者に対する受診勧奨の必要性に

について検討の上、必要に応じて修正する。

19. 研究対象者の経済的負担及び研究対象者への謝礼の有無とその内容

- ・謝礼について、付与するポイントの内容を明記する。

○研究実施計画書

13. 研究対象者等に経済的な負担又は謝礼

- ・謝礼について、付与するポイントの内容を明記する。

○参加される方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義について

- ・「約 15 人に 1 人以上」の誤記を修正する。

5. 研究の方法について ④ 5 週間のプログラムを受ける

- ・後でプログラムを受けるグループに 1 体 1 の面談を実施しない理由を追記する。

17. 研究対象者等に経済的な負担又は謝礼がある場合、その旨及びその内容について

- ・謝礼について、付与するポイントの内容を明記する。

③ 研究責任者： 医学部 第2病理学 講師 片渕 瑛介

研究課題名： 糸球体腎炎を含む腎疾患における病理学的特徴と予後に関する後ろ向き
観察研究

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、「継続審査」とする。

[指摘事項]

○全体

- ・情報取得が新たに発生する場合は後ろ向き研究ではなく前向き研究に該当するため、研究計画を再度検討する。

- ・生存解析を実施する可能性があるため、生物統計又は疫学の専門家の関与を検討する。

- ・オプトアウト期間については、解析期間を考慮し、研究期間終了日より前に設定することが望ましいため、検討する。

- ・資料（データなど）の保管場所について、P2（1648 室）と P6（1636 室）で記載が異なるため、正しく修正する。

○倫理審査研究計画書

17. インフォームド・アセントを受ける場合の手続方法

- ・■有とする場合は、小児を対象とすることとなるため、子ども向け説明文書等を作成する。

- ・代諾者による同意のみで進める場合は、■無に修正する。

④ 研究責任者： 医学部 医学概論 教授 石丸 知宏

研究課題名： 医療機関における血液・体液ばく露の現状と対策の検討：エピネット日本版サーベイランスデータの活用

研究代表機関： 産業医科大学

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 c) 統計解析方法

- ・主要な統計解析手法を少なくとも1つは記載する。

12. 研究費の資金源と利益相反について 3) 知的財産権の発生について

- ・株式会社名等の誤記を修正する。

○研究実施計画書

5. 統計解析

- ・主要な統計解析手法を少なくとも1つは記載する。

(3) 新規申請（継続審査）

① 研究責任者： 医学部 放射線科学 学内講師 二ツ矢 浩一郎

研究課題名： 対話型生成 AI を用いた医師に対する画像下治療（IVR）インフォームドコンセント教育プログラムの開発と教育効果の検証

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○全体

- ・3名の指導医を学外者とするか、学内者とするか、再検討の上、必要に応じて修正する。

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 d) 評価項目

- ・二次評価として、指導医評価以外の指標も取り入れながら妥当性を検証することが望ましい。

(4) 変更申請（個別審査）

① 研究責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久

研究課題名： 高年齢労働者の健康と労働に関するインターネット調査

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者： 医学部 第1生理学 准教授 藤原 広明

研究課題名： 就寝前のストレッチによる睡眠の質と量への影響に関する介入研究

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 准教授 大河原 眞

研究課題名： 女性の健康に関連した産業保健活動の確立に向けたインターネット調査（厚生労働科学研究費 23JA1005）

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

④ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 河村 洋子

研究課題名： ストレス・マインドセット変容によるメンタルヘルス向上と禁煙支援：職域保健介入研究

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(5) 変更申請（中央一括審査）

○本学代表研究機関

- ① 研究責任者： 産業医科大学病院 薬剤部 科長 横山 雄一
研究課題名： がん化学療法施行中のがん悪液質患者に対するアナモレリンの使用実態調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅
研究課題名： 消防活動時の冷却装置による深部体温抑制効果と熱中症リスク低減に関する研究
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： エコチル調査産業医科大学サブユニットセンター センター長 辻 真弓
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）本調査における産業医科大学サブユニットセンター任意調査（8 歳、12 歳）
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 情報管理センター 准教授 村上 玄樹
研究課題名： 療養病床における医療の質指標の開発
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 研究責任者： 産業保健学部 成人・老年看護学 助教 森園 久美
研究課題名： 施設入所中の高齢者に対するアロマセラピーの効果検証
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

○本学共同研究機関

- ① 研究責任者： 医学部 第1外科学 学内講師 永田 淳
研究課題名： がん治療に伴う、がん患者と家族の経済的負担と影響に関する観察研究
研究代表機関： 愛知県がんセンター
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

7 その他

- (1) 研究終了報告 3 件、及び進捗状況報告 22 件について、別紙のとおり承認された。

研 究 終 了 報 告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
R3-021	江口 尚	産業精神保健学	教授	うつ病で休職した労働者の復職時の認知機能と復職後の就労継続期間の関係について
ER24-016	永田 智久	産業保健経営学	准教授	健康経営に係る企業の意思決定プロセスと意思決定に必要な情報に関する調査
R3-035	和泉 弘人	ストレス関連 疾患予防センター	副センター長	ストレス関連指標としての毛髪コルチゾールの有用性検討

研 究 進 捗 状 況 報 告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER24-015	落合 信寿	眼科学	助教	大規模医療データベースを用いた眼疾患の疫学研究に関する方法論的検討
ER25-031	金城 泰幸	産科婦人科学	助教	大分県の就労褥婦を対象とした産後1年における尿失禁の概要と労働機能障害の評価
R4-027	立石 和子	基礎看護学	教授	看護学生における被災経験と防災意識、ボランティア活動への意識の関連について -自然災害が多い地域と比較的少ない地域の比較-
ER23-024	立石 和子	基礎看護学	教授	医療従事者に求められているコンピテンシーの検証 -伝統医療従事者へのインタビュー調査-
ID25-004	中谷 淳子	産業・地域看護学	教授	産業現場で活動する保健師・看護師を対象とした基礎研修に関する妥当性の調査
ID24-005	石田尾 徹	作業環境計測制御学	講師	整形外科手術領域の診断参考レベル設定のための予備調査
ER25-024	宮内 博幸	作業環境計測制御学	教授	化学防護手袋装着時の器用性に関する評価方法の研究
ER23-014	河村 洋子	安全衛生マネジメント学	教授	ストレス・マインドセット変容によるメンタルヘルス向上と禁煙支援：職域保健介入研究
ID25-006	榎原 毅	人間工学	教授	陸上貨物運送業を対象とした複合型腰痛予防介入アプローチの効果検証
ER25-030	森 貴美代	産業保健管理学	助教	暑熱環境下における作業中の頸部冷却による体温上昇抑制効果の検討
ER23-015	江口 尚	産業精神保健学	教授	職場の孤立・孤独を予防する管理者向けの介入手法の開発 ～前後比較試験による研究～
ID25-007	藤野 善久	環境疫学	教授	要介護の状況を踏まえた高齢者の不定愁訴及び慢性疾患に対する漢方治療の現状分析
ID24-006	上野 晋	職業性中毒学	教授	金属アーク溶接等による溶接ヒュームの二次曝露およびその健康障害の実態評価に関する調査研究
R4-031	松垣 竜太郎	作業関連疾患予防学	助教	高年齢労働者の労働災害、労働機能障害、および健康に関する調査

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
ER25-029	森 貴大	産業保健経営学	有期助教	定期健康診断における自他覚症状検査の実施内容の体系的整理
R2-020	立石 清一郎	災害産業 保健センター	教授	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の産業保健職の対応に関する調査
ER25-016	寒竹 啓太	リハビリテーション部	技師	産業医科大学病院集中治療室での早期離床・リハビリテーションに関する意識調査および実態調査
R4-042	五十嵐 侑	産業医 実務研修センター	助教	新型コロナウイルス感染症の罹患後症状を有する労働者の就労支援に関する調査
ER25-028	藤本 賢治	産業保健データ サイエンスセンター	学内講師	介護データを活用した2040年を見据えた地域の介護サービス提供体制の構築及び科学的介護の推進に向けた研究
IK24-004	渡辺 一彦	高年齢 労働者産業保健 研究センター	助教	勤労者におけるロコモティブシンドロームと関連する因子の検討
ER25-023	濱田 千枝美	医学教育改革 推進センター	講師	診療参加型臨床実習の質向上に関する探索的研究
ID24-009	村上 玄樹	情報管理センター	准教授	療養病床における医療の質指標の開発